

長野工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	国語Ⅲ (電気)	
科目基礎情報						
科目番号	0028		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般科		対象学年	3		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	・教科書『精選現代文B 新訂版』(大修館書店), その他に2学年次に使用した、『字義で覚える常用漢字』, 国語便覧, 国語辞書など.					
担当教員	藤原 崇雅					
到達目標						
・高等学校卒業程度の現代文の国語力を身につけることで, 学習・教育目標 (A-1) の達成とする.						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
論理的文章	論理的文章の論理の展開を理解し, 要旨を把握することができる.		論理的文章の文意を理解できる.		論理的文章が理解できない.	
文学的文章	文学的文章について, 書き手の意図を理解することができる.		文学的文章の場面や情景を想像でき, 登場人物の心情を理解することができる.		文学的文章が理解できない.	
語彙力	自らの語彙を知的好奇心をもって, 積極的に増やすことができる.		基本的な語彙が理解できる.		基本的な語彙力がない.	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	・論理的文章を客観的に理解する能力と, 文学的文章を読解し鑑賞する能力を育成する. ・実用的な文章を理解し作成する能力と, 目的に応じた情報収集の能力を育成する.					
授業の進め方・方法	・講義と, それについての課題を課す. ・適宜, 宿題やノート提出を課すので, 期限に遅れず提出すること.					
注意点	<成績評価> 試験(80%)および課題など(20%)の合計100点満点で(A-1)を評価し, 合計の6割以上を獲得した者を合格とする. <オフィスアワー> 授業の後の休憩時間に対応する. <先修科目・後修科目> 先修科目は国語Ⅱ, 後修科目は国語Ⅳ, 日本文学. <備考> 意見や感想の表明などは, 授業または提出物などで適宜行う.					
授業の属性・履修上の区分						
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 評論 1-1	・本科目の目的や概要などについて理解できる. ・論理的文章に表された考えを理解できる.		
		2週	評論 1-2	・論理的文章の構成や展開を的確にとらえ, 要約できる.		
		3週	評論 1-3	・論理的文章の論拠の妥当性の判断を踏まえて, 自分の意見を述べるることができる.		
		4週	小説 1-1	・文学的文章に描かれた人物像を読み取れる.		
		5週	小説 1-2	・文学的文章に描かれたものの見方を表現に即して読み取れる.		
		6週	小説 1-3	・文学的文章に描かれた人物像やものの見方に対して, 自分の意見を述べるることができる.		
		7週	実用的な文章	・実用的な文章を, 相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる.		
		8週	これまでの理解度の確認	・これまでの学習内容について, 理解できている.		
	2ndQ	9週	評論 2-1	・論理的文章に表された考えを理解できる. ・論理的文章の構成や展開を的確にとらえ, 要約できる.		
		10週	評論 2-2	・論理的文章の論拠の妥当性の判断を踏まえて, 自分の意見を述べるることができる.		
		11週	小説 2-1	・文学的文章に描かれた人物像を読み取れる.		
		12週	小説 2-2	・文学的文章に描かれたものの見方を表現に即して読み取れる.		
		13週	小説 2-3	・文学的文章に描かれた人物像やものの見方に対して, 自分の意見を述べるることができる.		
		14週	情報収集	・目的に応じて, 印刷物やインターネットから適切な情報を収集できる.		
		15週	前期末達成度試験	・これまでの学習内容について, 理解できている.		
		16週	まとめと復習	・これまでの学習内容をまとめ, 復習することができる.		
評価割合						
	試験	小テスト	平常点	レポート	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	100
配点	80	0	0	0	20	100